

2023 年 2 月 22 日
株式会社 九電工



令和 4 年度「新エネ大賞」 新エネルギー財団会長賞を共同受賞

当社、佐賀県小城市、および国際航業株式会社(以下、「国際航業」)の3者は、令和4年度「新エネ大賞」の分散型新エネルギー先進モデル部門において、新エネルギー財団会長賞を共同受賞いたしました。

「新エネ大賞」は、一般財団法人新エネルギー財団が、新エネルギー等の導入の促進を図ることを目的に、新エネルギー等に係る機器の開発、設備等の導入、普及啓発、分散型エネルギーの活用、および地域に根ざした導入の取り組みを公募し、表彰するものです。

今回の受賞は、小城市の「小城市庁舎防災希望強靱化事業」に、当社佐賀支店を中心とする企業グループ、ならびに国際航業と共同で応募・提案し、最優秀事業者として選定され、令和4年2月に設備が完成し、運用を開始したものです。

小城市への提案は、同市庁舎敷地内に太陽光パネルを搭載したカーポート、および鉛蓄電池による蓄電設備を設置し、当社が独自開発した「九電工 EMS(※)」を利用して、災害時のみならず、平常時においても同庁舎が消費する電力の大部分を再生可能エネルギーで賄う仕組みです。このシステムにより同庁舎のCO2削減率は、従来比の約90%に達しています。

また、併設する鉛蓄電池は、複数系統で運転する設計としており、本来比較的短寿命の鉛蓄電池を長期間安定して使用できる仕組みを整えております。(特許第 6235061 号)

当社では、引き続き再生可能エネルギー分野において、カーボンニュートラルの実現に向けて社会貢献できる技術を提供してまいります。

※「九電工 EMS」は、出力変動が激しい太陽光発電など再生エネルギー由来の電力を安定して供給制御が行える自立した発電システムです。

○新エネ大賞受賞のポイント(新エネルギー財団HPより)

市庁舎の駐車場にソーラーカーポート、鉛蓄電池及びエネルギーマネジメントシステムを導入(552kW)し、電力会社の電力に頼らないオフグリッドシステムを構築、市庁舎全体と保健福祉センターの一部に電力を供給している。

市庁舎に併設された駐車場にカーポート型の大容量太陽光発電設備を設置、安全性、リサイクル性などを考慮して鉛蓄電池を使用するとともにオフグリッドにより電力を供給するシステムを構築していることが評価された。災害時の防災拠点への電力供給ニーズが高まっている中、他の自治体への波及効果の高いモデルとして評価された。



導入前後 比較イメージ

